

GIGAスクール構想について

1 1人1台タブレット端末整備に向けた進捗状況について

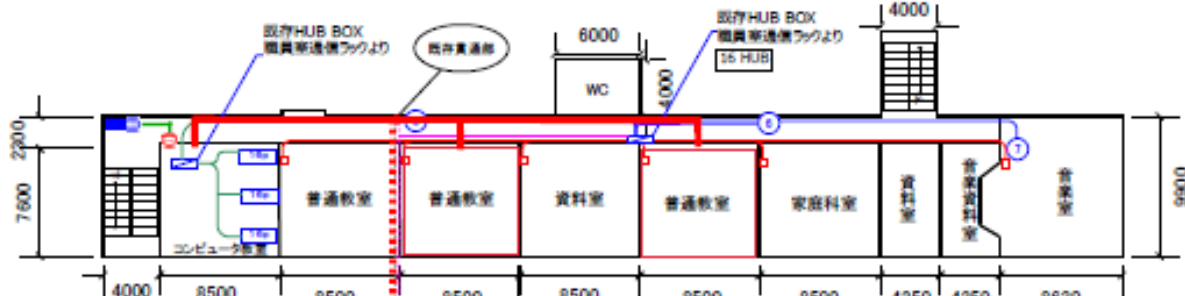


(1) 端末納入について

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	小計	教員用	合計
寄居小	55	43	38	38	53	43	0	0	0	270	20	290
桜沢小	25	22	24	43	22	40	0	0	0	176	14	190
用土小	18	21	30	28	31	31	0	0	0	159	14	173
折原小	8	8	10	14	13	13	0	0	0	66	13	79
鉢形小	49	46	49	43	30	51	0	0	0	268	22	290
男衾小	74	55	71	72	64	77	0	0	0	413	22	435
小計	229	195	222	238	213	255	0	0	0	1,352	105	1,457
寄居中	0	0	0	0	0	0	105	135	121	361	26	387
城南中	0	0	0	0	0	0	43	54	48	145	22	167
男衾中	0	0	0	0	0	0	69	77	75	221	22	243
小計	0	0	0	0	0	0	217	266	244	727	70	797
合計	229	195	222	238	213	255	217	266	244	2,079	175	2,254

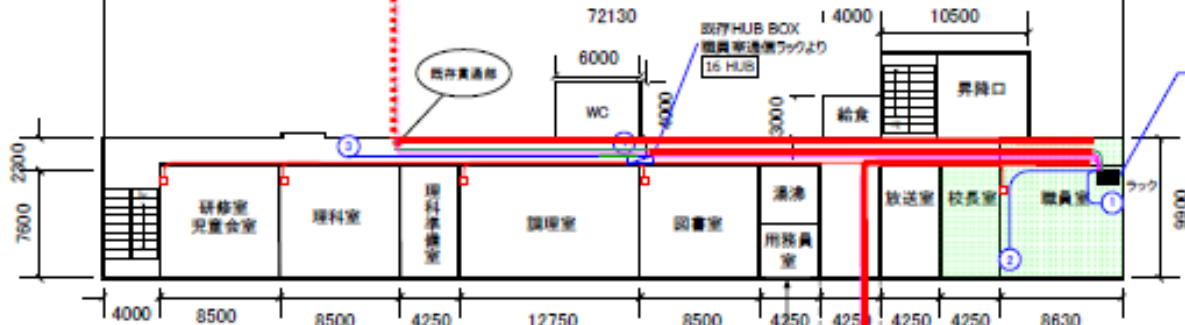
ネットワーク環境整備図 例：折原小学校

2階

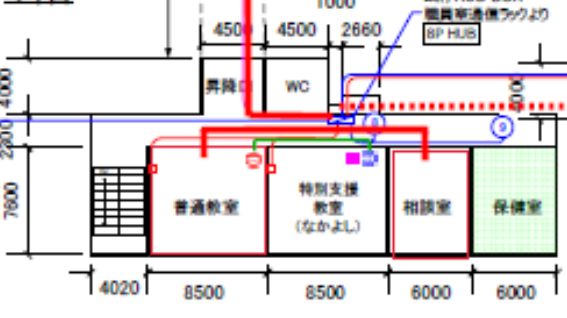


- 新規 無線アクセスポイント設置教室
- 既存 壁コンセント
- 新規コンセントBOC (2口)
- VVF 2.0×3ケーブル
- 45台充電保管庫 (45台収納)
- 24台充電保管庫 (24台収納)
- CATE6A配線
- SP HUB 8ポートHUB
- 16 HUB 16ポートHUB

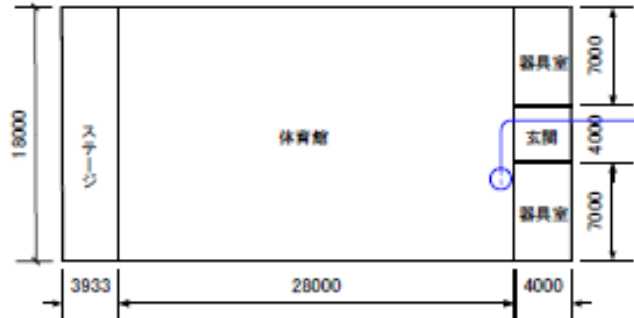
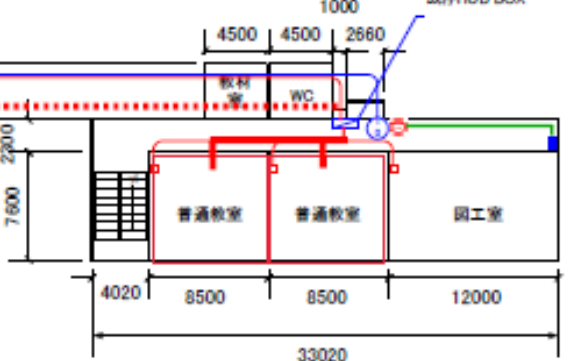
1階



1階



2階



廊下天井裏への配線工事 (男衾中)



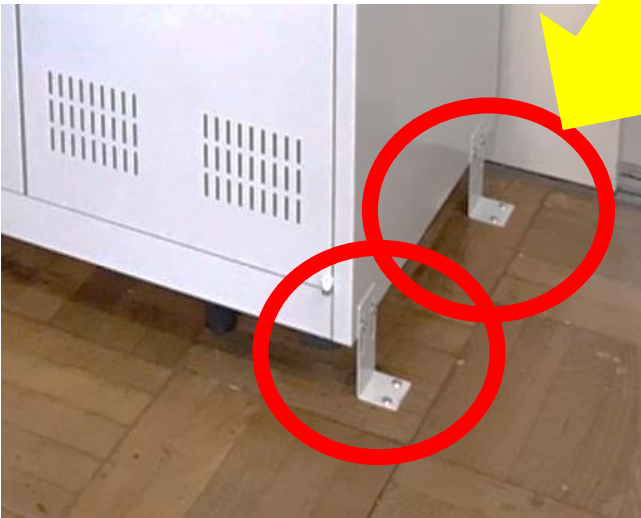
担架
お大事に！

担架

アクセスポイント (用土小)



ONU設置予定場所



電源保管庫 (寄居小)

(3) 使用開始時期

令和3年1月より使用開始予定



(4) 導入端末について



GIGAスクール構想に最適の「堅牢性」を実現

富士通のGIGAスクール対応タブレット「ARROWS Tab Q5010/DEG」

背面からフロント側まで「School Grip 360°」で筐体をカバーし、どのような利用シーンでも滑りにくい。また、上下左右をカバーしたフレーム「School Face 360°」で落下衝撃を吸収する安心のフレームデザインを実現。さらに、体育や家庭科、理科などの授業時でも安心の防滴・防塵設計、1時間で約80%の充電が可能となる急速充電、QRコードリーダー標準対応と、多様なシーンに即した機能が充実している。



スペック例

●Windows 10 Pro ●インテル® Celeron® プロセッサ N4000相当 ●10.1型ワイド液晶 ●フラッシュメモリ
ディスクドライブ 64GB / 128GB ●約11.5時間駆動 ●質量 (本体+キーボード) 約1.3Kg未満 ●キーボード標準添付

GIGAスクール構想 による学びの変容



1人1台端末

GIGAスクール構想に最適の「堅牢性」を実現

富士通のGIGAスクール対応タブレット「ARROWS Tab Q5010/DEG」

背面からフロント側まで「School Grip 360°」で筐体をカバーし、どのような利用シーンでも滑りにくい。また、上下左右をカバーしたフレーム「School Face 360°」で落下衝撃を吸収する安心のフレームデザインを実現。さらに、体育や家庭科、理科などの授業時でも安心の防滴・防塵設計、1時間で約80%の充電が可能となる急速充電、QRコードリーダー標準対応と、多様なシーンに即した機能が充実している。



スペック例

●Windows 10 Pro ●インテル® Celeron® プロセッサー N4000相当 ●10.1型ワイド液晶 ●フラッシュメモリ ディスクドライブ 64GB / 128GB ●約11.5時間駆動 ●質量（本体+キーボード）約1.3Kg未満 ●キーボード標準添付

高速通信環境



「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容イメージ

GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの教育実践の蓄積

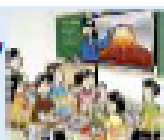
× ICT

=

学習活動の一層充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

「1人1台端末」ではない環境

- 教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる



学びの
深化

「1人1台端末」の環境

- 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる
→ 子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に

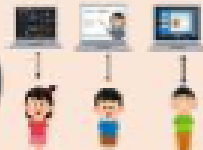


- 全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）



学びの
転換

- 各人が同時に別々の内容を学習できる
- 各人の学習履歴が自動的に記録される
→ 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に



- グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい（積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に）



- 一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる
- 各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる
→ 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる

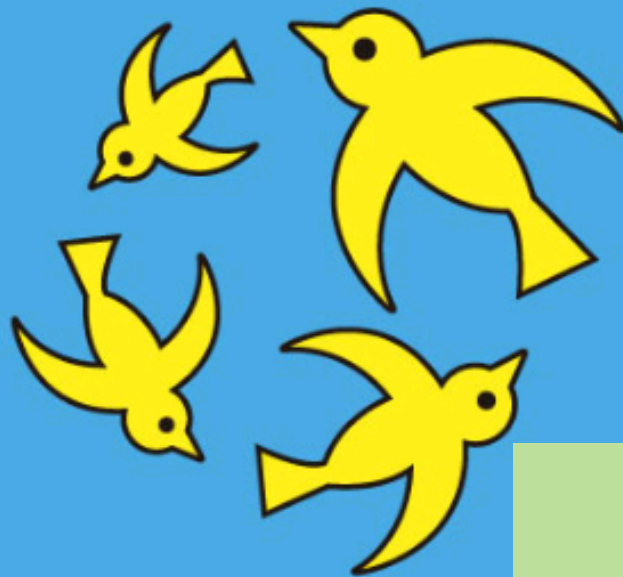


「1人1台端末」の活用によって充実する学習の例

- ☑ 調べ学習 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、記事や動画等の様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☑ 表現・制作 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☑ 遠隔教育 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☑ 情報モラル教育 実際に真贋様々な情報を活用する各場面（収集・発信など）における学習

子供の未来を支える皆さまと共有したい

新しい学習指導要領



生きる力 学びの、その先へ

学校で学んだことが、明日、そして将来につながります。
ます。

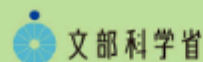
新しい学習指導要領、スタート

小学校：2020年度～ 中学校：2021年度～ 高等学校：2022年度～
幼稚園は、2018年度に新しい幼稚園教育要領がスタート。特別支援学校は、小・

小学校

学習指導要領(平成 29 年告示)

平成 29 年 3 月 告示



文部科学省

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「**アクティブ・ラーニング**」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



※高校教育については、益々な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で求められることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

1人1台端末活用について

(1) 学校の授業での活用

(2) 家庭学習での活用



各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について【概要】

各教科等の指導におけるICT活用の基本的な考え方

新学習指導要領に基づき、**資質・能力の三つの柱をバランスよく育成**するため、子供や学校等の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげる**ことが重要。

＜資質・能力の三つの柱＞

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力、
人間性等の涵養

生きて働く知識及び
技能の習得

未知の状況にも対応
できる
思考力、判断力、
表現力等の育成

【留意点】

- 資質・能力の育成により効果的な場合に、ICTを活用する。
- 限られた学習時間を効率的に運用する観点からも、ICTを活用する。

各教科等における1人1台端末の活用例

国語

録画機能を活用して、スピーチをよりよいものとする

- ・タブレット型端末等を使って、スピーチの様子を録画し、観点に沿って振り返ることで課題を見付け、改善する



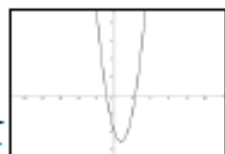
書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる

- ・文章作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言し合う
- ・文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲し、データを共有する

算数、数学

関数や図形などの変化の様子を可視化して、繰り返し試行
錯誤する

- ・画面上に表示した二次関数のグラフについて、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察する
- ・正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して正多角形の作図を行う

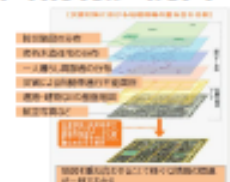


(二次関数の特徴を考察)

社会、地理歴史、公民

国内外のデータを加工して可視化したり、地図情報に統合
したりして、深く分析する

- ・各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
- ・分析した情報を、プレゼンソフトでわかりやすく加工して発表する



(国土交通省HPより引用)

理科

観察、実験を行い、動画等を使ってより深く分析・考察する

- ・観察、実験を動画等で記録することで、現象を科学的に分析し、考察を深める
- ・観察、実験のレポートやプレゼンテーション資料などを、写真やグラフを挿入するなどして、一人一人が主体的に作成する
- ・シミュレーションを活用して、観測しにくい現象を可視化し、理解を深める



※一斉学習における学習課題等の大型提示装置を活用した効果的・効率的な提示・説明などのICTの活用も、引き続き重要である

※災害や感染症の発生等により学校の臨時休業等が行われる場合においても、ICTを活用した家庭学習により、児童生徒の学びの保障が可能になる

使用できるアプリケーションソフトウェアについて

① SKYMENU CLOUD



③ まなびポケット



② eライブラリアドバンス



①SKYMENU CLOUD

カメラ活用

タブレット端末のカメラを使って、写真や動画を撮影できます。撮影データは自動的に自分の「個人フォルダ」に保存されるので、保存操作ミスなどでファイルを消失してしまうことはありません。



作品やノートを撮影すれば
学習成果の蓄積にも活用できます

①SKYMENU CLOUD

発表ノート

ノート - SKYMENU発表ノート

なぜ、雨は降るのか? ※ 図も書きましょう

軽い雪

重い雪

上昇気流

軽い雪は溶けて雨になる

雲の中の過冷却されている水蒸気に小さな氷の粒が飛び込んで雪ができる。そこから雪が大きくなってそれが落ちる。

ペン
蛍光ペン
消しゴム
図形
サイズ
色

あ
文字
消しゴム
素材
撮影
教材・作品
資料置き場
パーセント

SKYMENU

Detailed description: The image shows a presentation software window titled 'ノート - SKYMENU発表ノート'. The main slide has a light blue header with the title 'なぜ、雨は降るのか?' and a red note '※ 図も書きましょう'. The slide content features a grey cloud with blue dots representing snowflakes. Red arrows labeled '上昇気流' (upward air flow) point upwards into the cloud. Blue arrows labeled '軽い雪' (light snow) and '重い雪' (heavy snow) point downwards from the cloud. A green wavy line at the bottom of the cloud is labeled '軽い雪は溶けて雨になる' (light snow melts and becomes rain). Below the cloud, a paragraph explains that rain forms when supercooled water vapor in the cloud is hit by small ice particles, creating snow that grows and falls. On the right side of the software interface, there is a vertical toolbar with various drawing tools like pens, highlighters, eraser, shapes, and colors. The bottom right corner of the software shows the 'SKYMENU' logo.

①SKYMENU CLOUD

発表ノート



全員で同時に編集



① SKYMENU CLOUD

シンプルプレゼン

特許出願中

タブレット端末で撮影した写真や文字を使って、発表資料となるスライドが作成できます。先生方も子どもたちも迷わず使えるツールをめざし、スライドを作成するための必要最低限の機能のみを搭載しています。



The image displays two screenshots of the SKYMENU CLOUD application. The top screenshot shows a slide creation interface with a sequence of four slide thumbnails. A callout box points to this interface with the text: "スライド数を制限することでシンプルに構成する力をつける" (Limiting the number of slides to enhance the ability to create simple structures). The bottom screenshot shows a completed slide titled "火力発電の良い点" (Advantages of Thermal Power Generation). The slide content includes a photograph of a power plant and a list of advantages: "建設→容易" (Construction → Easy), "費用→安い" (Cost → Cheap), and "安定した電力の供給" (Stable power supply). A callout box points to the slide content with the text: "文字数や写真枚数などの表現の幅を制限" (Limiting the range of expression such as character count and number of photos).

スライド数を制限することでシンプルに構成する力をつける

ここに仮置きできます

火力発電の良い点

建設→容易
費用→安い

安定した電力の供給

文字数や写真枚数などの表現の幅を制限

① SKYMENU CLOUD

ポジショニング

子どもたちが、与えられた課題に対する自分の考え（立ち位置＝ポジショニング）を、マーカを配置して示すことができます。考えの変化に応じて何度でもマーカを再配置でき、その変容の過程を自動的に記録。考えの「ゆらぎ」を可視化して振り返ることができます。



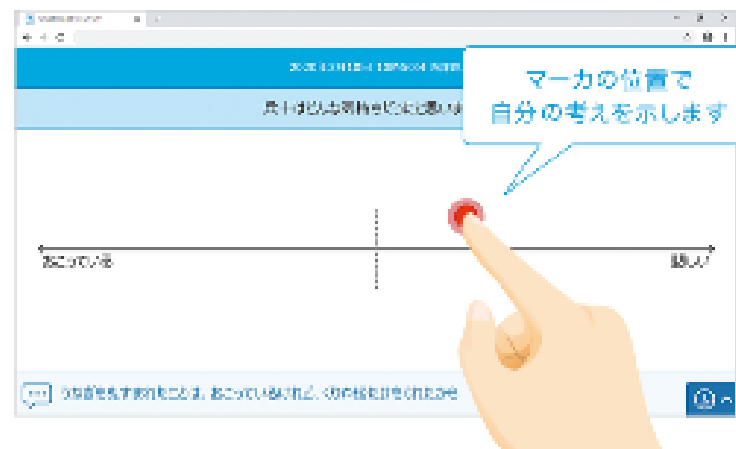
事例動画はこちら [小学校事例](#)



事例動画はこちら [中学校事例](#)

マーカを自由に配置して自分の考えを示す

マーカをどの位置に置くかによって自分の考えを示します。各自が手元で入力するので、他人の意見に左右されず、自分の考えを回答できます。また、コメント欄に回答の理由や意見を入力できます。



②eライブラリアドバンス



寄居町 1 さん

せんせい しじ
先生からの指示

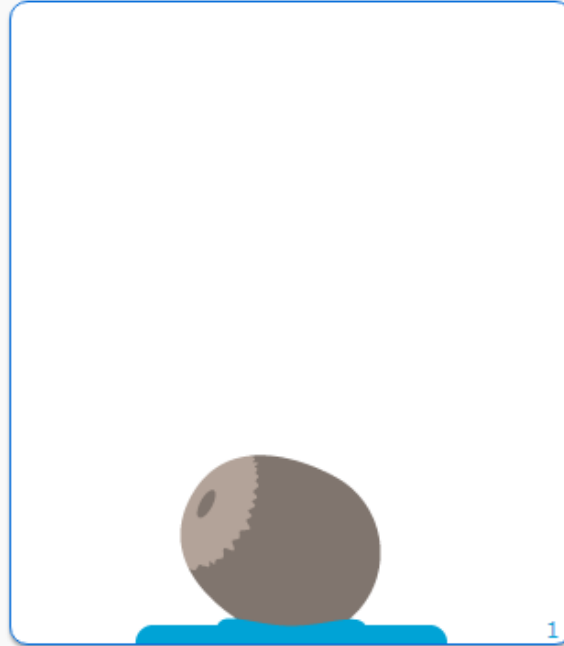
しじ
指示はありません
じゅう がくしゅう
自由 学習 をしましょう

じゅう がくしゅう
自由 学習

ここからはじめよう!

じぶん えら
自分で選ぶ

ふりかえり



②eライブラリアドバンス

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10

← 戻る

① 国語のジュギョウ。
1 かたかなの言葉を漢字で書きましよう。

授



消す もどす

業



消す もどす

判定

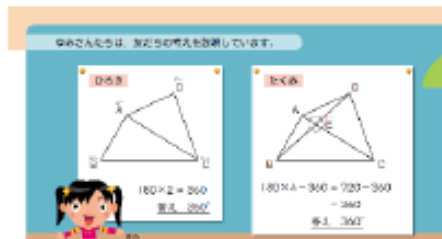
③デジタル教科書



学習者用デジタル教科書のイメージ

<学習者用デジタル教科書>

同一の内容を
デジタル化



紙の教科書

学習者用コンピュータ

<学習者用デジタル教科書の導入により期待されるメリット>

- **デジタル機能の活用による教育活動の一層の充実**
(例) 拡大縮小、ハイライト、共有、反転、リフロー、音声読み上げ
総ルビ、検索、保存 等

- **デジタル教材との一体的使用**
(例) 動画・アニメーション、ドリル・ワーク、参考資料 等



デジタル教科書（1）

学習者用デジタル教科書の法制化 平成31年4月1日施行

小学校、中学校、高校等の教育課程の一部において、通常の紙の教科書に代えて「デジタル教科書」を使用できる。視覚障害、発達障害等で通常の紙の教科書を使用して学習することが困難な児童生徒に対しては、教育課程全部において「デジタル教科書」を使用できる。

学習者用コンピュータで使用するにより可能となる学習方法の例

1 | 拡大



2 | 書き込み



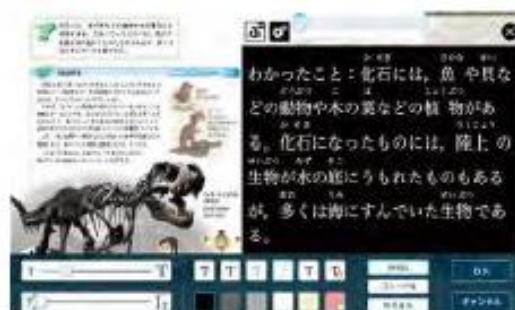
3 | 保存



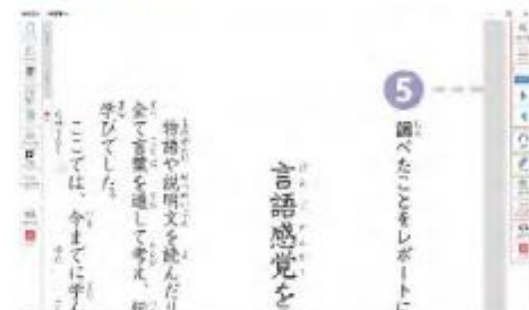
4 | 機械音声読み上げ



5 | 背景・文字色の変更・反転



6 | ルビ

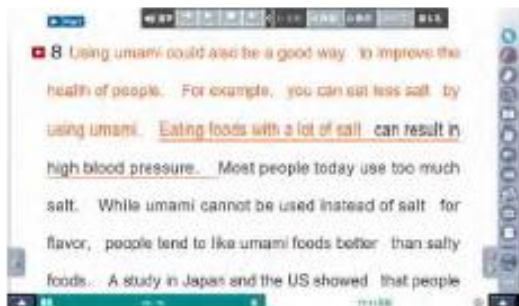


デジタル教科書（2）

他のデジタル教材と一体的に使用することで、可能となる学習方法の例。

他のICT機器等と一体的に使用することで、可能となる学習方法の例。

7 | 朗読



8 | 本文・図表等の抜き出し



大型提示装置による表示



9 | 動画・アニメーション等



10 | ドリル・ワークシート等



ネットワーク環境による共有





令和2年度

寄居町教育行政重点施策

基本理念

真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり

生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進をとおして



寄居町の 子どもたちのために

寄居町教育委員会は、基礎的・基本的な知識・技能の上に、「創造的な発想力・直観力」「成し遂げる力」「他者と協力する力」の三点を「真の学ぶ力」と捉え、「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」を基本的な理念として、町教育の振興・充実に取り組んでまいります。

寄居町教育委員会